



2023.8 Vol.51  
**GITeC NEWS**

**GITeC** 岐阜県産業技術総合センター  
Gifu Prefectural Industrial Technology Center

## 実施報告 研究成果発表会「化学・複合材料分野」・交流会

令和5年7月26日（水）に、当センターにて「研究成果発表会（化学・複合材料分野）・交流会」を開催しました。4年ぶりの対面での発表会では、昨年度の研究結果10件と、ぎふ技術革新センター運営協議会の会員企業による8件のパネル発表を併せて行い37名の方が参加されました。成果発表会後の交流会では、パネルと成果物を前にしたディスカッションが行われ、ビジネス展開の可能性や各企業が抱えている課題を含めて活発な討論や意見交換がなされました。



成果発表会の様子



交流会の風景

## 実施報告

## トライボロジー講演会

県内中小企業の皆様に摩擦摩耗現象について理解を深めていただく目的で、トライボロジー講演会を実施しました。聴講者からは、「DLC表面の摩擦現象について理解が深まった」「事象ごとに試験例を説明していただき分かりやすかった」などの感想がありました。

当センターは、高温摩擦摩耗試験機（ブルカージャパン（株）社製、UMT Tribolab）を所有しており、ベアリングを想定した試験や硬質膜・潤滑膜を想定した試験に利用できます。（開放機器利用：2,610円/時間）

【日時】令和5年8月7日（月）13:10～16:00

【内容】講演1 『炭素系硬質薄膜の超低摩擦現象と電場方向制御を用いた表面増強ラマン測定』

講師：名古屋大学 工学部 機械・航空宇宙工学科 准教授 野老山 貴行 氏

講演2 『多機能摩擦摩耗試験機 UMT Tribolab の概要とその応用事例』

講師：ブルカージャパン株式会社 ナノ表面計測事業部 塚本 和己 氏

【参加者】25名



表面粗さ測定には、接触式の表面粗さ測定機(アメテック(株)社製、フォームタリサーフPGI Novus)または、非接触式の共焦点顕微鏡(レーザーテック(株)社製、OPTELICS HYBRID L3)を使用します。今回、この2機種を用いて粗さ標準片の測定を行い、測定結果について比較しました。

測定に用いた粗さ標準片は、 $11.1\mu\text{m}$ 及び $0.82\mu\text{m}$ の溝が入っているガラス製の粗さ標準片です。 $11.1\mu\text{m}$ 及び $0.82\mu\text{m}$ の標準片を測定した結果を図1及び図2に示します。図1から、溝側面及びエッジ部において両者による測定結果に差異が見られます。非接触式である共焦点顕微鏡では、エッジ部で大きなノイズが発生します。フィルタ処理によりノイズを除去しますが、形状にひずみが生じることがあります。図2からは、溝の深さの測定値が異なっていることが分かります。この差異はフィルタ処理及びノイズ除去による影響が大きいと考えられます。

この様に、表面粗さ測定では測定方法やフィルター処理等によって実形状と異なってしまふことがあります。また、表面性状や材質の影響を受けることがありますので注意が必要となります。

(問合せ先：機械部)

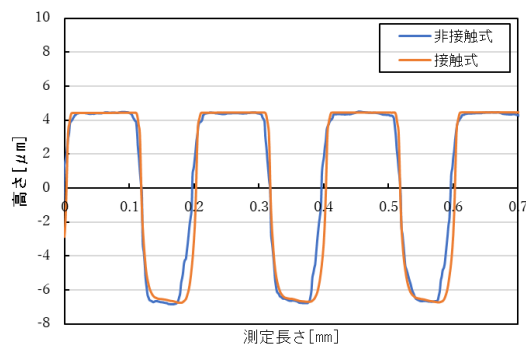


図1 粗さ測定結果(標準片[溝深さ $11.1\mu\text{m}$ ])

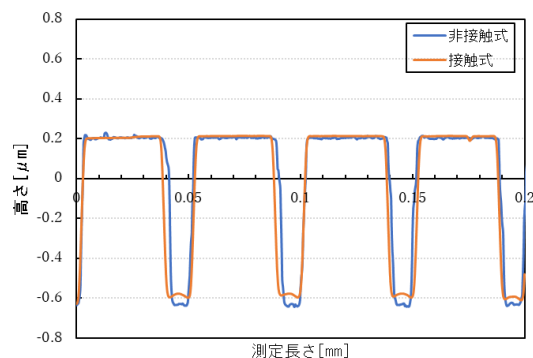


図2 粗さ測定結果(標準片[溝深さ $0.82\mu\text{m}$ ])

## ご案内

## 繊維講演会・研究成果発表会

繊維関連企業を対象に、講演会と令和4年度に実施した繊維に関する研究成果発表会を併せて開催します。

【日時】令和5年9月6日(水) 13:30~16:30

【場所】岐阜県産業技術総合センター 実験棟A 2階 A201 多目的ホール

【内容】『天然繊維の高機能化-マイクロ波処理技術-』

講師：みなも株式会社 代表取締役社長 西岡 将輝氏

・研究成果発表(4テーマ)

発表する課題名と概要は、開催案内(下記URL)をご参照ください

・終了後 希望者は所内見学

【定員】50名 ※先着順、定員に達し次第締め切り

【参加費】無料

【申込締切】令和5年9月1日(金)

【申込方法】右記の二次元コードより表示される入力フォームに必要事項を記入の上、お申し込みください

◆開催案内：[https://www.gitec.rd.pref.gifu.lg.jp/files/news/2023/20230906\\_2.pdf](https://www.gitec.rd.pref.gifu.lg.jp/files/news/2023/20230906_2.pdf) (問合せ先：繊維・紙業部)



<https://logoform.jp/f/KfUBX>

## お知らせ

## インボイス制度に関して

令和5年10月1日より、「消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入されます。

当センター(を含む県の研究機関)における「依頼試験手数料」および「開放機器利用料」は、いずれも課税取引であり、インボイス制度の対象になります。ご利用の際には何らかの形でインボイスを発行する予定です。(詳細については現在関係部署と調整中)

なお、県のインボイス発行事業者登録番号は「T4000020210005」です。(問合せ先：産学連携部)